

休日における中学校部活動の地域移行に関するアンケート (回答結果集計)

対象者： 御所市内の中学校教職員（全 78 名）

実施期間： 令和 6 年 9 月 10 日（火）～令和 6 年 9 月 24 日（火）

実施主体： 御所市教育委員会事務局生涯学習課

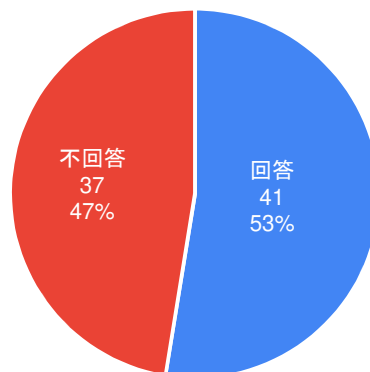
回答方法： google フォームによる
※教職員用メールアドレスを用いて回答。

アンケート趣旨： 少子化が進む中、持続可能な部活動の実現とともに、教職員の負担軽減を図るため、国または県から、休日における部活動の地域移行について提言が発表されており、御所市においても御所市地域クラブ活動推進協議会を発足し検討を進めています。
本アンケートは、御所市におけるこれからの部活動の地域移行の在り方について検討するための参考とするため、現場教職員の声を聴取したものです。

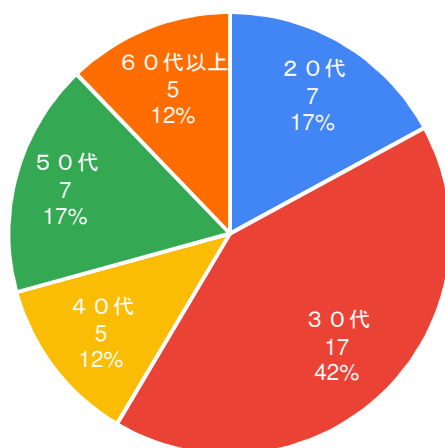
その他： ・回答内容に特定の個人を特定しうる場合には、実施主体において回答内容の趣旨を損なわないよう修正を行っています。

・本アンケートの回答結果について不明な点、ご意見等があれば、生涯学習課までお問い合わせください。教職員へのお問い合わせはご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

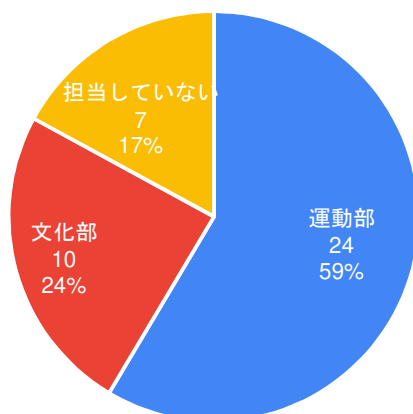
回答数（中学校教職員総数 78 名）



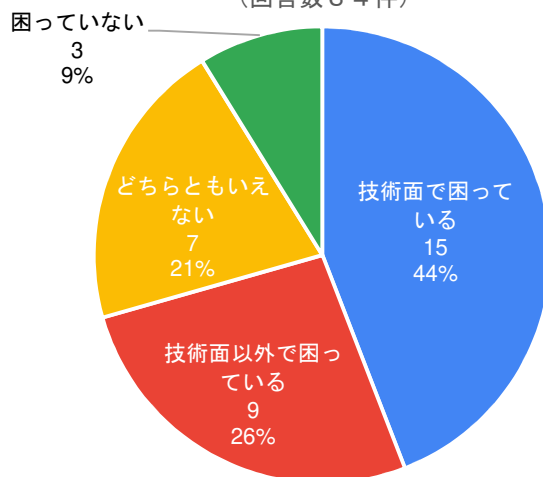
あなたの年代を次から選択してください。（回答数41件）



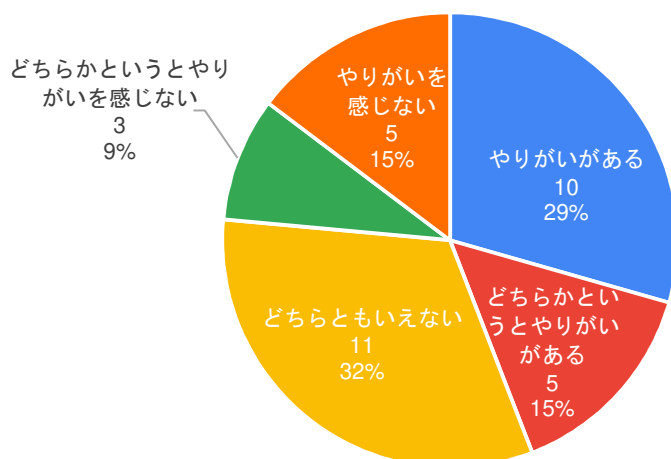
あなたが現在、主として指導または担当（以下、指導等）している部活動は何ですか。（回答数41件）



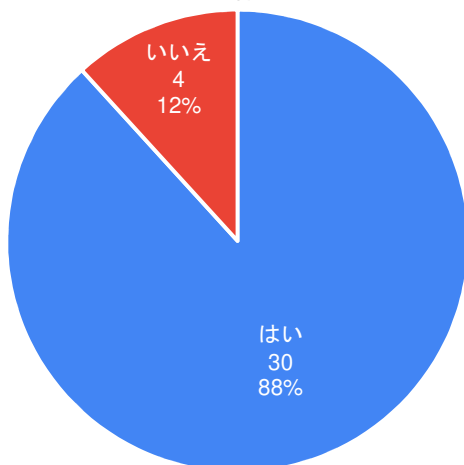
現在、主として指導等している部活動で、困っていることはありますか。
(回答数 34 件)

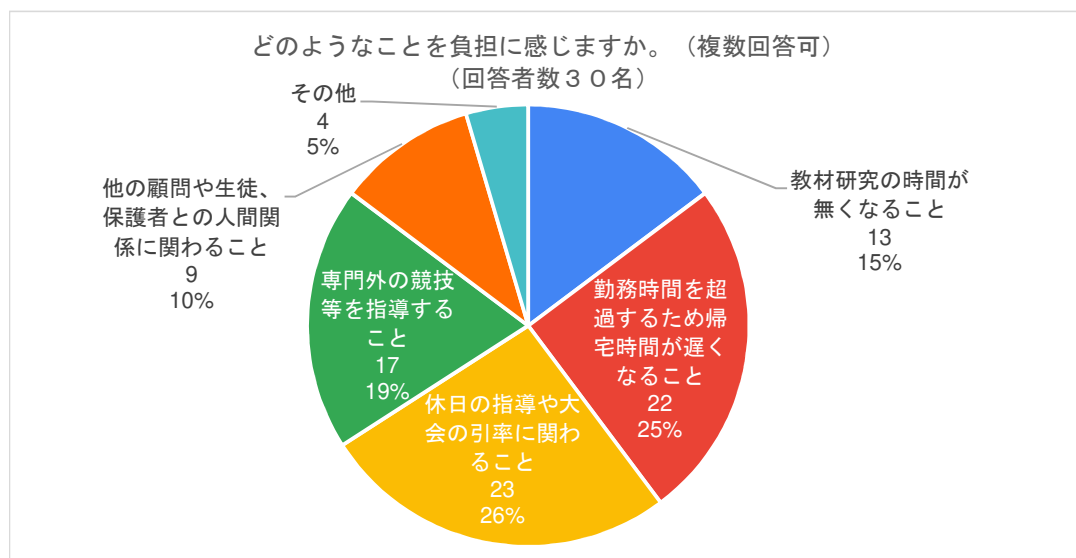


部活動の指導等について、やりがいを感じますか。(回答数 34 件)



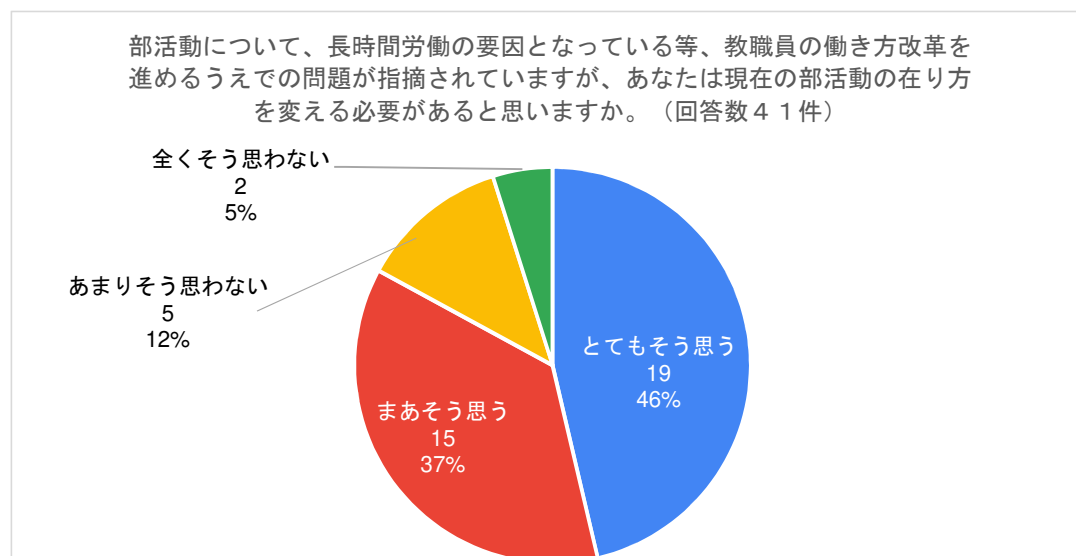
部活動を指導等する中で、負担を感じることはありますか。(回答数 34 件)



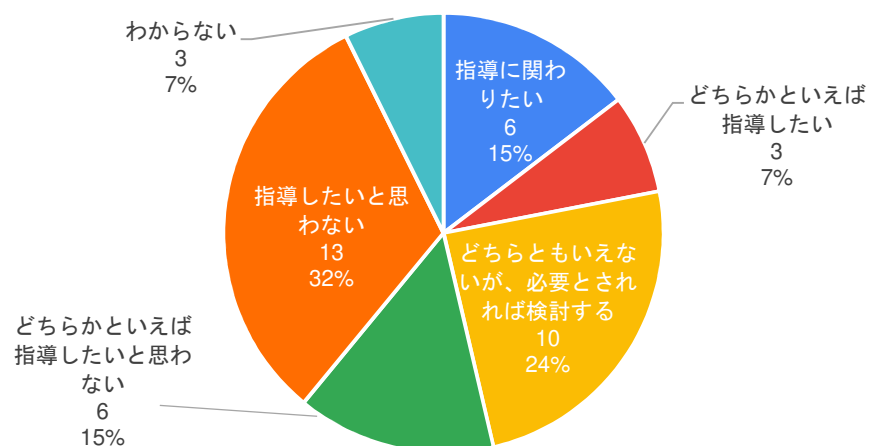


その他

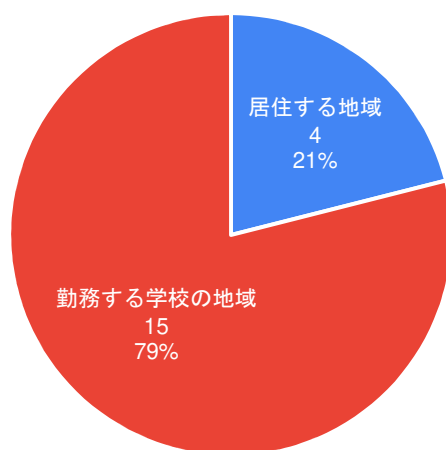
- ・大会などの運営
- ・1日引率して中体連主催以外の大会は3200円の支給。8時間引率で時給400円の低支給
- ・顧問の数が少ない。
- ・手当はついているものの、実際の活動量と見合っていない



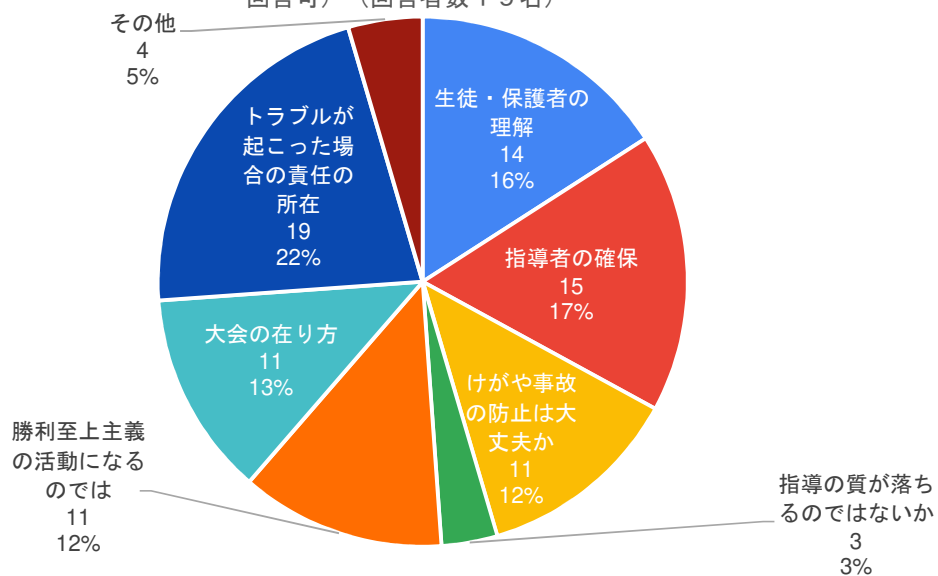
休日の部活動が地域移行された場合、あなたの指導の関わりについて、どのように考えますか。（回答数 41 件）



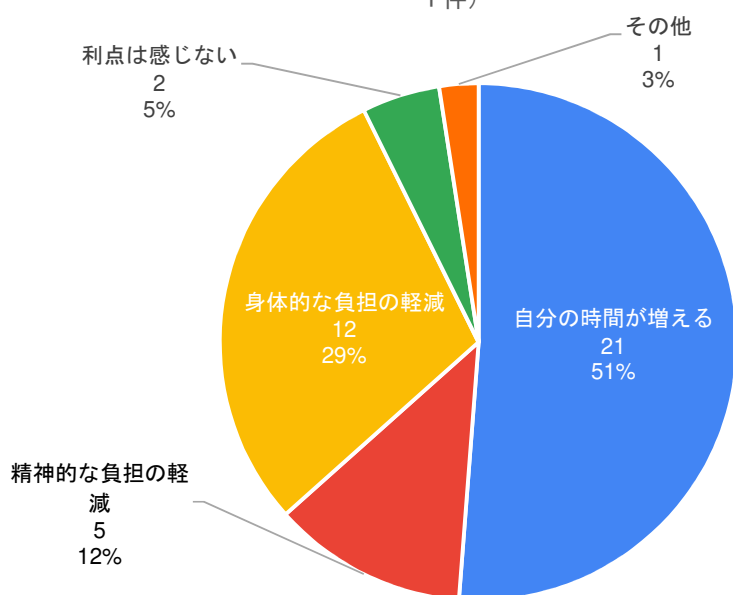
どこで指導したいと考えますか。（回答数 19 件）



休日の部活動が地域移行される場合、不安に感じることは何ですか。（複数回答可）（回答者数 19 名）



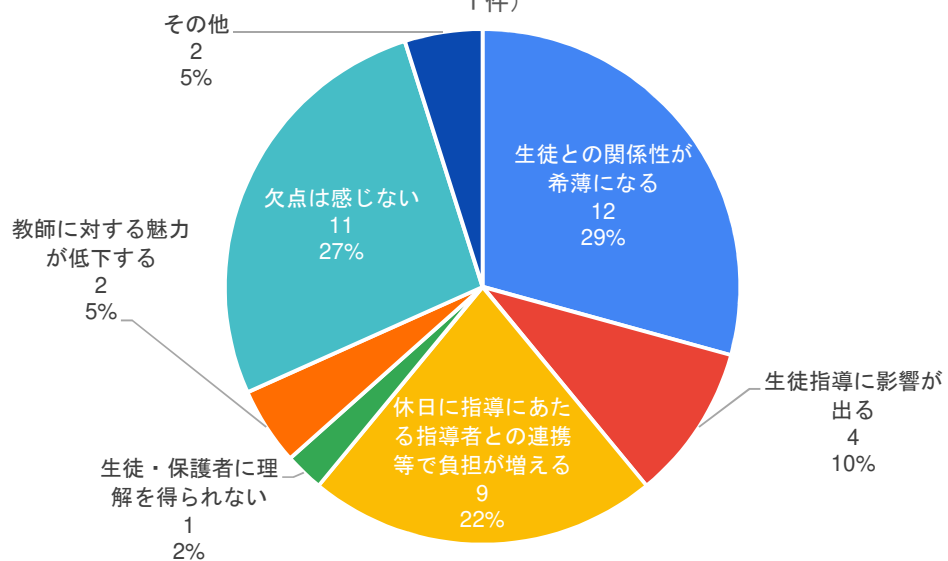
休日の指導（学校部活動及び地域クラブ活動）に従事しないことによる利点について、最も当てはまるものを下記から一つ選んでください。（回答数41件）



その他

- ・家族と過ごす時間が増える

休日の指導（学校部活動及び地域クラブ活動）に従事しないことによる欠点について、最も当てはまるものを下記から一つ選んでください。（回答数41件）



その他

- ・外部指導者だけで生徒との関係が築けない気がする。
- ・わからない

休日の部活動移行について、ご意見等がありましたらご記入ください。（自由記述）（回答数28件）

- ・色々ありがとうございます。
- ・時給をかなり上げないと指導にあたってくれる人を確保できないと思う。
- ・指導者の確保と選択が、非常に難しく感じる。（誰でも良いわけではないため）
- ・地域移行の準備よろしくをお願いします。
- ・地域移行するのであれば、平日の指導から地域に移行するべきだと思う。
- ・平日についても検討お願い致します。
- ・具体的な方法を示して欲しい
- ・完全移行を切に願います。
- ・生徒の気持ちに、できるだけ寄り添った形での実施を希望します
- ・協力しない教員と協力する教員で保護者の方との距離が変わってくる気がします。
- ・ぜひ進めていただきたいです。
- ・希望者は指導でき、希望しない者は指導しなくてよい仕組みになればいいと思います。
- ・実施しないと分からない。
- ・部活動指導員が集まらず、結局いま指導している先生方に外部指導者登録をすることになり、指導することにならないか懸念している。
- ・大会に出場する為の練習を熱を持ってやってくれる指導者が来てくれるなら任せられる。
- ・わかり次第、なるべく早い段階で情報を知りたいです今の1年生の選手も今後のことを気にしている様子もあります
- ・現実的に教員が携わらないと運営が厳しい競技もあるし、保護者や地域の雰囲気などから部活動から手をひくことについて意見を言われることへの精神的負担もでてくると感じる。
- ・平日の部活動との関係性が難しいので、そこをどのように解消していくのかが課題だと思います。
- ・指導員との打ち合わせや、生徒指導が発生した際の対応、活動場所など、決めるべき事項がたくさんあると思います。ですが、土日が休みになると、自分や家族にあてる時間が増えると思います。
- ・そもそも教育課程外なのに、教員に(しかも専門外のことが多い)やらせてきた理由を明白にしてほしい。生徒の最終下校時刻が定時外なのも理解できない。よって、部活を廃止することが出来ない理由を教えて欲しい。
- ・平日の練習との連携や休日に開催される大会運営等はどうしていくのか疑問です。特に大会運営は顧問が輪番制でやっている部分も多く、それもしなくてよくなるのかなど不明点も多いのが気になります。

・御所市として現在この件についてどのように検討している状態なのかが全くおりてきていません。奈良県は令和8年度から新しい仕組みに変わっていくと思いますが御所市は今後どのようなスケジュールで移行を考えているのかしりたいです。

・地域以降は過疎地域では不可能。やりたい先生は絶対にたくさんいる。市に配属される先生で毎年やりたいと思う先生にアンケートを取り、その先生の学校でその部活動を地域移行する。ただそこに対価はしっかり払われるべきである。定額働かせ放題ではなく、やりたい先生がやる気になってやれて、そこに対価がついてくる、それが1番。

・地域移行について、移行後も部活動の指導を希望する教員に対しての報酬の支払いはどうなるのかを、希望するかどうか確認する前に提示していただきたいです。また、専門の競技であれば私のように、指導を希望する方もいるかと思えます。地域移行関係のすべてのことに言えることですが、部活動の指導に魅力を感じて教員になった方の思いを大切にしていきたいです。よろしくお願いします。

・地域移行が円滑に進んでいくと教職員の身体的負担も軽減されると思う反面、今部活顧問としてみている生徒をみってくれる指導者の方がいるのかどうか(競技数に見合う指導者の確保ができるのかどうか)が心配です。市として地域移行を進めます、と言っているも蓋を開けてみると「指導者が見つからないのでやっぱり教員がみないといけない」という事態にならないよう、教員にとっても生徒にとってもよい取組となるように進めてほしいと思います。

・学校現場の意見をもっともっと聞くことが必要だと思う。従事の有無だけでなく、どちらの場合であっても学校の子どものことなので、学校目線での不安や課題を洗い出すことだと思う。また、人材不足は明らかで、個々の意向をしっかり聞いて把握しながらになるが、教職員頼みになることは確かである。

・部活動には様々な形があると思いますが、自分(チーム)が立てた目標に向かって一生懸命努力し、様々な経験や出会いをすることによって、人間として成長していけるのが部活動の最大の魅力だと思っています。また、多様な子ども達にとって居場所にもなり、どんな子でも輝くことができるという願いで指導させてもらっています。しかし、ここまで情熱をもってできるのは教職員として指導しているからだと思っています。平日は勤務校の部活動を見て、休日は違うチームの指導するとなると、そこまでして部活動を指導しようとは思いません。また、仮に平日だけ勤務校の部活動を見たとっても、休日に何かが起きた時に、結局は教職員が対応することになるのではないのでしょうか。大会役員にしても人手不足が明らかなので、動員がかかるのではないのでしょうか。それだと地域移行をする意味が無くなります。部活動は、御所市や学校だけの問題ではなく、先生によって専門委員に入っていたり役職に就いておられる先生方もいます。転勤先のことも考えておられる先生方もいます。様々な立場を抱える先生方がいる中、このアンケートは非常に答えづらく、難しいものだと思います。私は、教職員を志したのは、部活動も含めて子ども達と向き合いたいと考えたからです。そういった意味でも、今後の部活動の在り方次第で、私のモチベーションがどうなるのか不安を感じています。

・教員の働き方を見直すにあたり、減らすべきものは部活動ではないと考えています。たしかに、休日の時間がなくなったり残業につながりますが、部活動指導があるから教員を目指した経緯も少なからずあります。また、部活動があるからこそ、子供たちが前を向いて、目標を見つけ、人間として大きく成長している現実もあります。学校生活だけでは学べない経験や体験も部活動を通して得ている生徒はたくさんいます。学校教育から部活動を切り離してしまうと、そういった経験や体験ができる生徒は大幅に減少するのではと不安を抱いています。もちろん教員の負担を軽減するために、専門的な指導者を新たに増員してもらうことは負担軽減にはつながると思いますが、学校教育から部活動を切り離してしまうと、今後の教員としてのモチベーションも維持できるのか、非常に不安を感じています。最後に、教員の働き方改革とするならば、県や市での授業研究やレポート発表、〇〇教育といった、昔からあるものにさらに新しいものが次々と乗っかってくるこの現状をどうにかしてほしいと感じています。部活動が排除されても、教員の仕事量はむしろ増えていってしまいそうに感じて不安しかありませんし、魅力がますますなくなるように感じています。長々と申し訳ありませんが、いち意見として見ていただければと思います。

・自由意見なし計13件